

市民目線で提案する改善点、市民の役割

事業への提案:改善提案

スポーツ推進委員は公募制にし、様々な世代から人を集められるよう工夫し、地域で「健康寿命を延ばそう」というムーブメントを起こせる担い手に

1 1 1

スポーツ推進委員は町内会からの推薦だけでなく公募した方が良いのでは？意欲を持った方を探して行くべき。

スポーツ推進委員は地域の人の健康寿命を延ばすための活動に重きを置いて行くべき。マラソン大会の運営だけでなく。

月額3600円を支払っているという報酬費についても明確にオープンにして行くべきだ

札幌市全体として健康寿命を延ばそうというムーブメントをスポーツ推進委員から発信できるように

良い人材は地域に眠っているのではないかな？

大きなマラソン大会の運営よりもっと地域密着で

特に若い人は今のシステムだと選ばれにくい。新しい事業が起きない。

年代・性別を区切って募集すれば様々な世代から人を集められる。バランスの良い構成を

スポーツ推進委員専門の部署があっても良いのでは？

1

ウォーキングで大人数でやる宣伝効果のある大会をやれば大きな原動力に

ウォーキングの大会はもっと大人数が参加できるような大会を開催してはどうか？

宣伝効果、ウォーキング推進の大きな原動力になるようなもの

ボランティアももっと動員したら良い

食べ物に換算したカロリー表示もしては？

食べ物のカロリー表示は公園のウォーキングコースにも取り入れてはどうか？

地下鉄階段のメッセージを改札から出入口にも

1

地下鉄階段のメッセージは改札抜けてから出入口までのところにもつけて

テーマに関連したその他の提案

健康づくりセンターの運営は民間のマーケティング手法にもっと学ぶべき

→定員を増やす

健康づくり講座などの定員をもう少し増やす

→1回無料券の配布

健康づくりセンターの1回無料券を市民に配布してはどうか？利用する人が増え、健康に関心をもつ人が増えるかも

群馬県中之条町の町あげでの健康づくりの取組に学ぶべき

海外の長寿の国にも学ぶべき

“健康寿命が長いまち”は良いまちというイメージを持たれる若いうちから健康寿命について考える意識付けを！

若いお母さん同士が健康について考える場、若い人が高齢世代の人と話せる場があれば良い

学校の授業で健康寿命をテーマに話し合ったり、高齢者の話を聞いたりしては？

大学で健康づくりなどを研究している所とリンクして進めては？

各区に健康づくり推進の部署を

今もある、でも市民の声を直接言える場は？

区単位で特色をもった健康づくり推進を

ウォーキング仲間づくりのお手伝いなどを区でやって欲しい

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割

市民は苦情だけでなく、日常感覚からの意見をもっと市に届けるべき

今回のワークショップのような協働の場は市職員の人にとっても良かったのでは？普段、直接市民の声を聞くときは苦情が多いのではないかな

できれば具体的なアクションについても、もっと話して行きたい

区などもう少し小さい単位でも市役所職員と市民が直接話せるワークショップの場を

スポーツ推進委員に色々な世代の人がなって、健康づくりを盛り上げて行く

自分もスポーツ推進委員になりたい

医療機関との連携は？

市民目線で提案する改善点、市民の役割

事業への提案:改善提案

スポーツ推進委員  
一般の人にも

地域に眠っている元スポーツ選手などがもっと学校や一般の方に指導できる仕組みに(大きなイベントだけではなく)

オリンピックズキャラバン  
学校単位でも派遣

学校単位でもアスリートを派遣して、子どもたちが「すごい!」と感じる、スポーツのきっかけとなるように

ウォーキング関連事業  
に職員が参加  
チカホへも表示

市の職員、区の職員の方が、ウォーキングなどのイベントと一緒に参加して、一緒に汗を流してはどうか

チカホに距離とカロリー表示を

学校プール開放  
の充実を

プール開放の日数増加  
札幌の子どもはスイミングスクールに行かないと泳げるようにならない  
管理体制の見直しが必要?

プール開放の日数を増やす  
小学生以外も使える日も作る

カードにハンコが必要、ハードル高い、もう少し気軽に行けると良い

プールの監視員  
ボランティア研修→地域の中で増えたら良い

スキー練習をもっと気軽に

大きめの公園や学校のグラウンドなどで、気軽にスキーの練習などができると良い

普段使っていない人でも、  
体育館を利用できるように

月に1~2回程は普段使っていない一般の人が参加できる身近な催しのために開放する体操など

テーマに関連したその他の提案

ラジオ体操の取組を推進

ラジオ体操  
企業で取り組む、指導者がまわってくる

地域の公園や夏休みだけではなく、大人が職場の近くなどで

健診結果にオススメ運動  
をメニューに添える

健診結果とともにオススメの運動メニューが配布され、運動施設などが安くなる

現在でも、人間ドックを受けてデータを持って健康づくりセンターで健康測定を受けると、その後の利用料金が安くなる

病院や健診の際に、ここでこんな運動ができるなど、具体的なことが書いてあるパンフレットがあると良い(現在は啓発や概論的な内容が多い)

健康づくりやスポーツ推進を行っている取組団体への支援をする

ボランティアリーダーを育成する  
地域、職場など多様な場所で



ウォーキングなどのボランティアリーダーの役割が大切、地域と連携

健康づくりに関するサポーターの裾野を広げる

職場や買い物場所(スーパー)の方が、地域の町内会単位よりは参加しやすい

日程が決まっていたり、負担にならないように  
スポーツ経験やレベルが高くなくても関わられると良い

健康ポイント制度をつくる

万歩計を支給(ムリ?)して、歩数をポイントにして貯める。健康ポイント制度

運動とプラスα(食や施設見学、仲間づくり)を楽しめる  
季節ごとのツアーイベント

運動と食などを結びつけたツアーを行う  
市内各地のコースがあって、楽しく友達づくりができる、季節ごとに

札幌市で助成したり、ネットで広報をする

若い人が(オシャレに)参加できる朝活を推進!

朝の1時間を活用

例えば、北3条広場でヨガ、オープンテラスで朝食など  
友達づくりにもなる 定期的いろんな場所で

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割

ボランティアなどいろいろなレベルで、できる範囲でスポーツ、健康づくりに関わる

スポーツの楽しさを伝え広める

身近な人に話す、興味ある人に広める

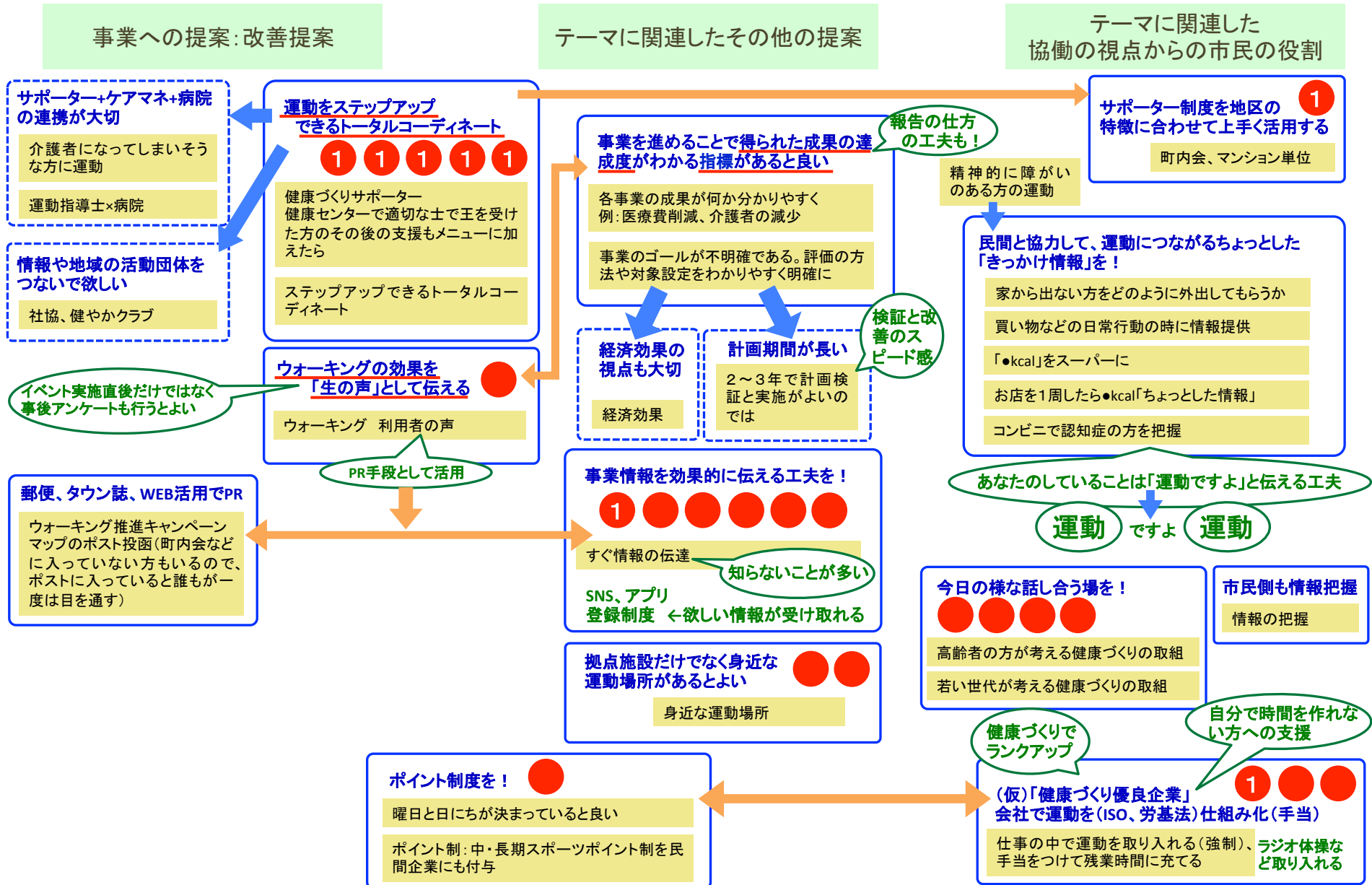
広報さっぽろなどで活発な取組やイベントを紹介する

市民がもっと関わられるようにするためにも、情報発信は重要!

スーパーなど身近な場所での札幌市の健康情報やイベント情報、仲間の募集の情報を得られると良い

札幌市のHPで、スポーツイベントが全てわかるとよい。終わったことがアップされるのではなく、検索した時に、これから行うイベントや公園施設の旬な情報が得られると良い

市民目線で提案する改善点、市民の役割

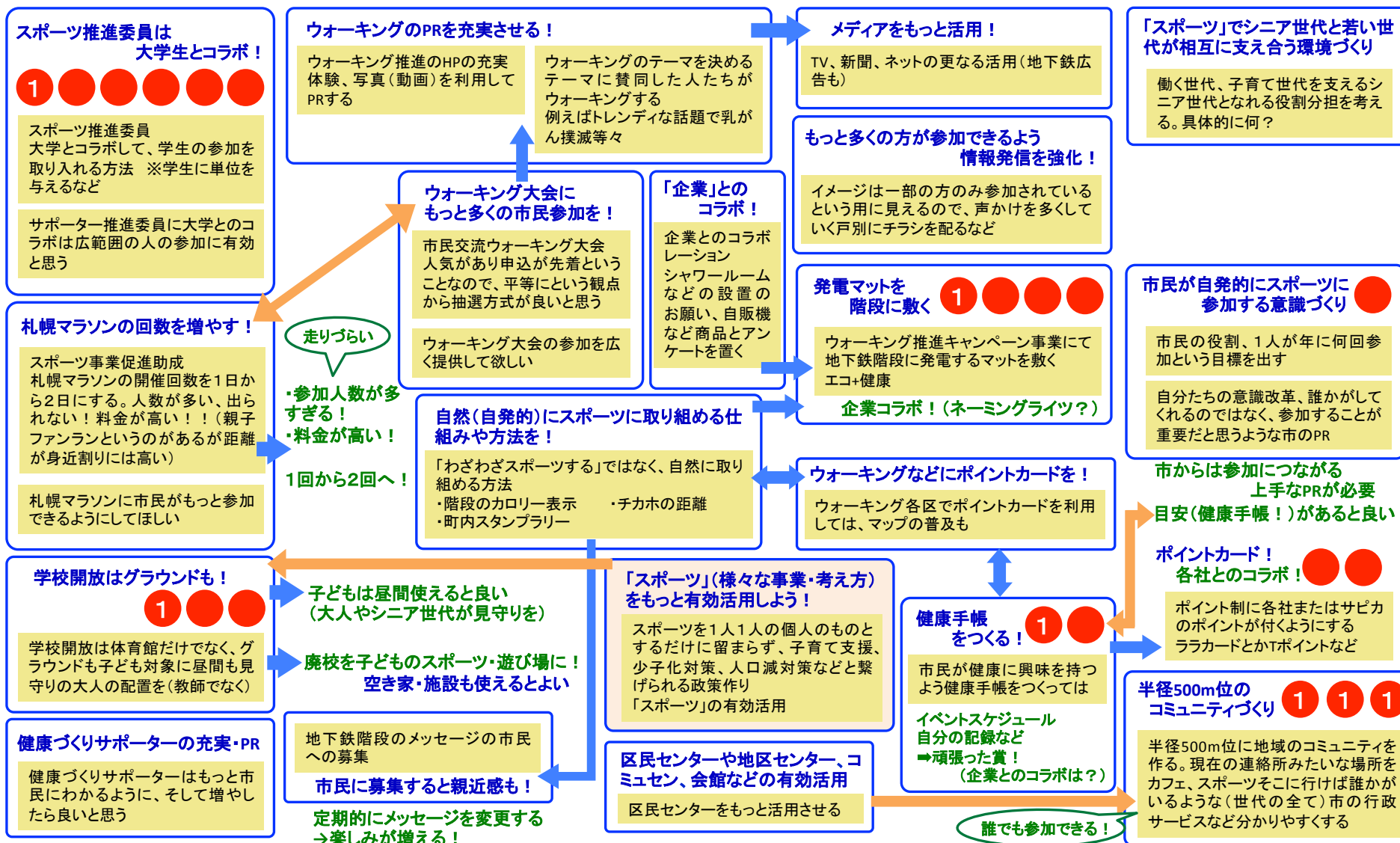


市民目線で提案する改善点、市民の役割

事業への提案:改善提案

テーマに関連したその他の提案

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割



市民目線で提案する改善点、市民の役割

ステップアップ→具  
体的な仕組み

ステップアップ=競技として  
の楽しさを深めていくこと  
楽しむ→正しいやり方

事業への提案:改善提案

テーマに関連したその他の提案

テーマに関連した  
協働の視点からの市民の役割

指導者と指導が  
必要な人が結び  
ついていない

スノーボードなど  
他の競技の指導  
も広げては

ウィンタースポーツに親しむ文化、雰囲気、ムーブメントをつくっていくことが大切

マスコミ、広告代理店なども連携

ウィンタースポーツ札幌ブランディング(提案)行政と民間(広告、技術者、事業者など)との連携の推進

「カッコいい」発信は、民間の力を借りた方がよい

高付加価値のコンテンツを安く提供

共通のマークで事業や物販を展開も

どう展開していくか、民間と協議して運動を作り上げていくと良い

民間との協力を進め、  
ムーブメントをつくることが大切

大きな大会の誘致は関心を高めるのに効果大(ワールドカップ、五輪)

スキー場など割引も必要

スキー場のリフト代(市の助成含めて)安くすると冬のスポーツに参加する人が増えるのでは?

大人も楽しめるように親子割引 宿泊施設の充実(民間?)地域の愛好家団体への支援

「19歳ならタダ」など、わかりやすく対象にメリハリをつけて

風景・景観の活用  
→行政にしかできないこと!

ブランディングとして、まちづくり(風景、景観など)を活用

昔のオリンピック施設、古びていて廃れているので、きれいに見せる工夫が必要

きれいに残すor取り壊す

雪に親しむ、雪に関わる風景をきれいにし、活用

例))電線の無い雪の風景

例))夏フェス  
若い人が音楽とアウトドアを楽しみ、広がっている  
→雪だけでなく、何かとアウトドアをコラボさせる

スノボは音楽を取り入れて、若い人を取り入れている

例))ポロクル、民間がレンタル、行政は場所を貸す

PRとして、SNSの活用(民との連携)(広告、インセンティブ、市民目線での関わり)

リアルタイムで発信できると良い

SNSを活用し  
個人の体験を発信

SNSで走った成果を見られる(記録)→共有できる→そこから自分もやろうかなと思ってもらえる

市と何か連携やバックアップができるのと良いのでは

体をどれだけ動かしたか見える化する工夫。心拍計、どれだけ時間汗をかいたか、ポイント化して積みあげる

緩やかに  
雰囲気が広がるように!

スポーツマスターは  
地域で運営できると良い

学校が人材募集の取組を行い、行政がそれをサポートする(周知、お金等)

ボラ保険の補助をしたり、クレーム対応を行政が担うなど

学校の先生をその気にさせる必要がある

地域ボランティアが運営できる体制づくり

社協と協力して人材を育成していくのも良いのでは

達人、指導者とのマッチング教えたい人、教えられる人と教わりたい人を結びつける仕組み(リスト、データベース)

人材育成マッチングも

子どもの道具交換会は、どんどん広めていくと良い

行政には、広報や会場の提供などサポートしてほしい

スポーツマスターをもっと活用していく

今、体育の時間がどうなっているかわからないが、運動場で雪かき、滑り台、カマクラ等を作成して遊ばせる  
競技会などを実施する

体育の授業から雪遊びを

指導者(資格に関係なく)近所の人に声をかけて、体育の授業に参加してもらう

市から広報して人材募集(信頼感ある)

「こんなことを手伝って」具体的をお願いする内容を示すとよい

いろいろな「雪遊び」を伝え、体験の機会をつくる

遊び、種目、情報  
スノーシューハイク、イグルーづくり→スノーキャンピングとか遊びのヒントになる情報

雪遊びスポーツ化して、大会の企画(民間と連携)学校、地域との連携

「雪遊びってこんなこともできる」を発信

スノーシュー、クロカンなどもレンタル、体験できる良い

民間のメーカーなどと協力してできないか

アウトドア推進。団体、民間会社、NPOとの連携、活用

「遊びの達人」

身近で雪に親しむ機会をつくる

雪に親しむ機会、もっと作る必要あるのでは

冬の公園は雪捨て場  
→雪山のある公園を作り遊べるようにしては  
→モデル地区

例))山形冬の運動会

公園、河川敷などでも遊べるよ

安全なソリ遊び場を各区1つずつでも作っては

今ある施設の情報を遊びに行く先として伝える

施設、遊び場所リスト。沢山選択肢あるのでは。利用度、空いている施設がどこにあるか分かるのと良いのでは

ウィンタースポーツミュージアムの活用案として、都心部に移す、楽しめる企画をする(オリンピック活用など)、PR・広告強化

休みの日に出かける先として施設をPR。混み具合も含めて知らせる

親が楽しむことで、子どもにも体験のチャンスできる

遊びに行きたい人×使われていない施設

市民目線で提案する改善点、市民の役割

事業への提案:改善提案

大通公園の活用  
大通の歩くスキー体験は  
もっと期間を長くしては？

スポーツの間口を広く  
→遊びも含めて多くの人が  
参加できるように

剰余金にたよらない資金の確保が必要  
スポンサーなど、企業のCSR費用ではなくプ  
ロモーション費用を取り込む工夫が必要

剰余金など考えないでスポーツをする

公園への出前体験は、  
地域からのリクエストでもっと実施して欲しい

公園の開放(冬季)  
大通の歩くスキーは良い(1~3月続ける)

雪捨て場となっている地域の公園を利用  
例)雪山づくり、かまくら作り、雪の芸術作り

近くの公園での出前体験

カーリング施設を増やすために  
企業などに働きかけて予算を確保しては

カーリング  
施設を増やす要あり、市内の企業体、事業  
団体に働きかけてはどうか(予算の設定)

冬のマラソン大会

冬の競歩の大会など  
誰でも参加しやすいスポーツをつくる

冬の健康づくりのための敷居の低い、  
身近な環境でのスポーツが必要

自身のために健康づくりしたい

ノルディックは力を入れているようだが...

アルペンスキーの普及・強化がもっと必要  
スキー場などの場は恵まれているが指導者  
が不足している

ノルディックの活性化にあわせ、アルペン  
スキーの普及、強化も必要ではないか

競技大会をイベント化して見に行く  
機会を作る

競技会や大会をイベント化する。  
「見に行く」(外出させる)

身近な冬の遊びや学び  
を普及・活性化

外国人の雇用。オーストラリア、ニュージーランド、  
カナダの人は冬の遊びや学びが充実している

楽しいと市民も協力できる

外国(北ヨーロッパなど)の  
冬の遊びを取り入れる

まずは楽しむ  
ことから

自衛隊の  
トレーニング施設の共有

指導者としての  
ノウハウもある

自衛隊の体力体験

遊びマスターの育成が必要

遊びマスターの育成はどうするかの問題  
(地域スポーツマスターの活用)

遊びを知らない世  
代が多くなった

テーマに関連したその他の提案

自衛隊や  
北大も

土日など未利用の時間多い...  
利用条件もよくわからない

学校などの施設(グラウンドなど)の管理  
(ハード)と利用(ソフト)を分離して、多目的  
な利活用を推進

施設(ハード)の管理とソフト(遊び、スポーツ)  
の分離

未使用、非使用の空間、施設を民間の知恵と  
資金(スポンサー)

公共施設の利用できない条件は何か?(休日、  
関係)

長期展望が無い。北大、自衛隊の施設

グラウンド(学校)の多目的利用(外はバスケ  
ットなどできないから)

教育委員会の  
責任の元では  
自由に遊びを  
展開できない

保険をしっかり  
検討する

学校の先生にもっとウィンタースポーツに  
参加して欲しい(しかし1,2,3月は先生は忙しい  
時期)

(学校)教育者の冬のスポーツへ参加

行政が地域の人と  
学校などの間の窓口を担って欲しい

高齢者が子どもと  
関わる機会を増やす

年金世代はゲートボールと  
病院待合室にコミュニティ  
ケーションを求めるな!小  
学校などに参加して子ども  
を開放せよ!

テーマに関連した  
協働の視点からの市民の役割